



和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 226号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会は、白子大坂ふれあいの森の会と協同で会報を発行します。 作成:高橋絹世 連絡先 048-462-9912

身近な自然を知り守り伝えよう 会員募集中

ホームページ

<http://wako-wakimizu.org/>



2023 年度新任教員研修会：白子湧水群現地研修と和光の自然と歴史講義

大変暑い夏、今年も新任教員研修会の現地案内と講義を高橋勝緒氏が中心に会員が協力し行いました。2023年7月28日に、18名の市内小中学校の先生方の和光の特徴的な自然と歴史を知ってもらう研修会として、湧き水を中心に白子地区をご案内し、白子コミセン集合・解散となりました。

前半は白子湧水群の見学と白子宿の歴史を訪ね、後半「和光の自然と歴史」についての高橋勝緒が講義、というスケジュールで実施しました。

先ず白子湧水群の現地見学と歴史探訪

1. 富沢湧水は重要な湧き水の仕組みの解る地層見学と水路の流れ、および、湧水を生活水として利用していた石垣湧水道、水量の多さが見える湧水榭見学の2班に分けて案内、
2. 大坂ふれあいの森まで川越街道の白子宿の紹介、
3. 大坂ふれあいの森ではすり鉢状地形、ムクノキなどの植生、湧水の高さが判る井戸紹介
4. 東埼橋では、東京都練馬区、板橋区の境界を確認
5. 白子橋では湧水の流入、童謡詩人清水かつらの紹介。
ヒロハマナの保護の紹介
6. 熊野神社では、富士講が盛んになり富士塚の由来、明治初期日本初のマスの養魚場の存在

案内は高橋勝緒、蔵ヶ崎先生、杉尾、橋本親子、高橋絹世

白子コミセンでの講義

和光の自然について：武蔵野培地末端部に位置している。白子地域の地層の特徴は関東ローム層、武蔵野礫層、その下に粘土層があり、その境から湧き水がわく仕組みを見学。各学校で取り上げられた事業の紹介：学区探検、北原小の新倉ふれあいの森で観察会（竹林観察と森の木探検）、第五小学校の白子湧水群観察、第四小学校の林間学校のための観察体験、などの紹介。

先生方は大変熱心に現地見学と講義を聞いてくださいました。今後の和光での授業に大変役立つとの感想でした。



2023 年度 夏休み中学生ボランティア体験会 大坂、富澤、新倉で実施

猛暑が続く中、3か所で湧き水と緑のボランティア体験を実施しました。

中学生の皆さんに、和光に残る湧き水や緑地の特徴を知ってもらい、保全活動に参加する体験会です。

当会が関わる日程は、8月16日 大坂ふれあいの森には5名参加（白子大坂ふれあいの森の会主催）

8月17日 富澤湧水に5名

8月19日 新倉ふれあいの森に4名

皆さん明るく、楽しみながら自然に親しんで、それぞれの自然の特徴を興味深く観察し、その後草刈りや刈った後の整備を体験していました。暑い中無事終了しました。慣れない草刈り大変だったようですが、最後にきれいになったのを実感し、達成感が得られたようです。

若い方たちの参加は、会にとっても力になります。参加してくれてありがとう！！今後もよろしく



大坂ふれあいの森（堀会長）



富澤湧水周辺草刈り



新倉の竹やぶで竹切体験

2023 年 8 月 大坂ふれあいの森の池にフナの放流

猛暑が続く 2023 年の夏、湧き水の環境に変化があるようです。

富澤湧水周辺に生息する生き物では、サワガニが生態系のすばらしさを示してくれる大切な生物で、この環境を大切に守ってきています。ところがこれをとらえて食べてしまう生き物が増えてきたのです。サワガニは富沢に広がる湧き水の環境を利用して、石垣湧水道だけではなく、コンクリートの壁際にも住処を広げています。頑張れサワガニ君！

大坂ふれあいの森にある池にフナが放流され、元気に生息しています。湧き水の会の橋本さん、翼君、葵君たちが、黒目川から大坂の湧水池に放流してくれました。



2023 年湧き水環境フォーラム in 和光 皆さん参加応援お願いしま～す

10月15日 日曜日 13時に白子コミセンに集合 富澤湧水の看板もできた白子湧水群を見学し、コミセンで講演会と意見交換会。

参加者には湧き水レポートカードや冊子「和光の緑と湧き水」も配布